

報告者プロフィール

◎ あいざわ こうえつ
相澤 幸悦

1950年9月13日生まれ。1978年法政大学経済学部卒。1986年慶応義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了。1989年(財)日本証券経済研究所、1995年長崎大学経済学部教授を経て、現在、埼玉大学経済学部教授。現在の専門分野は「世界の日本の経済」。主な著書に『ユニバーサル・バンクと金融持株会社』日本評論社、1997、『日本型金融システムを求めて』東洋経済新報社、1997、『ユーロは世界を変える』平凡社、1999、『平成大不況』ミネルヴァ書房、2001等がある。

◎ くろかわ ひろゆき
黒川 洋行

1965年6月10日生まれ。1987年国立東京外国語大学外国語学部ドイツ語学科卒。1990年外務省、1997年株式会社大和総研を経て、現在、関東学院大学経済学部教授。主要担当は「国際金融論」。主な著書に『欧州通貨統合が欧州社債市場へ与えた影響－戦略的M&Aの活発化と金融機関の競争激化－』関東学院大学経済学会研究論集、2003、『ドイツ郵貯民営化とポストバンキング戦略－ドイツ金融システムにおける位置づけ－』証券経済研究、2005等がある。

◎ たきがわ よしお
滝川 好夫

1953年7月25日生まれ。神戸大学大学院経済学研究科博士前期課程修了。アメリカ、エール大学留学、神戸大学経済学部助手、講師、助教授を経て、現在、神戸大学大学院経済学研究科教授。専攻は「金融経済論」。主な著書に『現代金融経済論の基本問題－貨幣・信用の作用と銀行の役割－』頸草書房、1997、『金融に強くなる日経新聞の読み方』PHP研究所、2001、『経済記事の要点がすらすら読める「経済図表・用語」早わかり』PHP文庫、2002、『ケインズなら日本経済をどう再生する』税務経理協会、2003、『あえて「郵政民営化」に反対する』日本評論社、2005、『「大買収時代」のファイナンス入門』日本評論社、2005、『ファイナンス理論【入門】』PHP研究所、2005、『郵政民営化の金融社会学』日本評論社、2006、『リレーションシップ・バンキングの経済分析』税務経理協会、2007、『どうなる「ゆうちょ銀行」「かんぽ生保」－日本郵政グループのゆくえ－』日本評論社、2007、『ケインズ経済学を読む：「貨幣改革論」「貨幣論」「雇用・利子および貨幣の一般理論』』ミネルヴァ書房、2008等がある。

第2回 研究助成論文報告会

(平成19年度 研究分)

日時 平成21年2月3日(火) 16時 開会

会場 メルパルク東京 5階「瑞雲の間」

財団法人 ゆうちょ財団

報 告 概 要

第 2 回 研究助成論文報告会

◆ 報告会 (瑞雲の間 5 階 16 時 00 分～18 時 00 分)

16 : 00	開会の挨拶 財団法人 ゆうちよ財団 理事 江 寄 正 邦
16 : 15～16 : 45	相沢 幸悦 埼玉大学経済学部教授 「資本主義の精神と証券市場の役割」
16 : 45～17 : 15	黒川 洋行 関東学院大学経済学部教授 「郵便貯金と地域金融市場」
17 : 15～17 : 45	滝川 好夫 神戸大学大学院経済学研究科教授 「郵便貯金銀行は地域金融市場を混乱させるか」
	終 了

◆ 意見交換会 (牡丹の間 3 階 18 時 10 分 ～)

◎ あいざわ こうえつ 相澤 幸悦 「資本主義の精神と証券市場の役割」

1980 年代後半に、日本において発生したバブル経済は、歴史上、数回しかなかったようなすさまじいものであった。したがって、バブル経済崩壊による平成大不況を本格的に克服するには、十年をはるかに上回る歳月と 50 兆円あまりの天文学的公的資金の投入を必要としたのである。本稿では、「資本主義の精神」というものを考察した上で、企業の社会的責任、現代経済における証券市場の重要な役割、機関投資家の占める役割とゆうちょ銀行とかんぽ生命保険の歴史的使命をあきらかにする。

◎ くろかわ ひろゆき 黒川 洋行 「郵便貯金と地域金融市場」

日本の金融システムにおいて大きな位置を占める郵便貯金資金について、その運用の今後の在り方は、地方経済の活性化・地域金融の在り方との関連で、とりわけ注目されているところである。本稿においては、日本の郵便貯金資金の運用と機能について、とくに地域金融市場および地方経済に果たす役割という視点からの分析を試みる。日本の郵便貯金資金の運用とゆうちょ銀行のバンキングの在り方について若干の将来展望を試みたい。

◎ たきがわ よしお 滝川 好夫 「郵便貯金銀行は地域金融市場を混乱させるか」

2007 年 10 月 1 日、「小泉構造改革」のシンボルであった「郵政民営化」がスタートした。郵便・郵便貯金・簡易生命保険の郵政 3 事業は郵便局窓口・郵便・郵便貯金・生命保険の郵政 4 事業に再編成され、「あたらしいふつうをつくる」というスローガンで「J P 日本郵政グループ」が誕生した。本稿では、「日本全国どこでも」という意味を検証し、郵政民営化スタートによって、第一に現在の店舗網は局種別でどう変わるのか、第二に都道府県別の店舗網はどのようになるのか、第三に地域金融機関へどのような影響を及ぼすかを検討する。